

日本穀物栄養研究会の案内 ーご挨拶とお誘いー

謹啓 時下、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

初代会長・神戸女子大学教授 末武 勲(すえたけ いさお)と申します。

このたび、主食である穀物の栄養に関する研究とその社会実装を目的とした「日本穀物栄養研究会」が昨年8月に発足いたしました。本研究会はアカデミアと企業の研究者が自由に集い、楽しく情報と意見を交換できる開かれた場を目指します。つきましては、本趣旨にご賛同いただき、会員としてご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 研究会の目的

穀物栄養に関わる研究状況や課題について、学術的知見と産業現場の知見を融合させることで、研究の社会実装や共同研究、事業創出、持続的な穀物栄養研究の発展を図り、また、科学に基づく穀物栄養に関連する情報を社会に発信して正しい穀物の利用を促進することを目的とします。

2. 研究会の活動内容

(1) 研究状況を知る

穀物の栄養、およびその周辺領域である、穀物の生産・利用・加工・用途、安全と衛生管理、食文化と歴史、を含めた内容の講演会、講義、文献や話題の紹介などの座学を行いたいと思います。可能であれば、関連する施設の見学会を企画します。座学を市民講座したり、再教育の場としたりすれば社会貢献にもなります。

☆これらの活動は、年に1回程度の開催からスタートさせます。

(2) 穀物栄養の情報を発信

研究会のホームページを活用し、穀物の栄養に関する正しい情報を掲載します。巷に出回る怪しい情報とは一線を画し、穀物栄養を正しく理解し、栄養の偏りを生まないため、関連学会で概ね受け入れられる内容とし、複数名の会員と世話役会の審査を経ることが必要です。

☆研究会の負担軽減のため、ホームページの管理は専門業者に任せ、数か月に1度は更新を目指します。

3. 研究会の運営方針

研究会の運営に携わる皆様の負担を軽減し、持続的な運営のために次の施策を行います。

①会員間の活発なコミュニケーションを促進し、透明性の高い開かれた運営を心がけます、②ミッションを共有化と目的に沿った活動を推進します、③規約に基づき役割分担を進めます、④業務の洗い出しによるスリム化、IOT や SNS 等の活用による効率化、マニュアル・手順書の作成による平準化を図り、会員の皆様が研究会の活動に集中できる環境を提供します。

4. 会費

会員種別(年度会費)

- ・個人会員:年会費 1,000 円
- ・賛助会員:年会費 30,000 円
- ・学生会員:無料

※事業年度: 4月1日～3月31日

5. 入会申請

事務局 (bunseki@nippn.co.jp) までご連絡ください。

6. 第1回講演会

2026年6月27日(土)午後

場所:神戸女子大学 ポートアイランドキャンパス

(講演会の詳細は後日、事務局から会員の皆様にご案内いたします)

書面にてのご案内ですが、本研究会の趣旨にご賛同いただき、会員として研究会へのご参加をお誘いする次第です。また、法人の皆様につきましても、格別のご高配を賜り、ご支援・ご協力を賜りますよう、ここに謹んでお願い申し上げます。

謹白

2026年 初夏吉日
日本穀物栄養研究会
会長 末武勲
神戸女子大学教授